

横浜市立平戸中学校 道徳教育全体計画 構造図

関係法規・ビジョン等
日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学校教育法施行規則 学習指導要領 横浜教育ビジョン 横浜版学習指導要領 等

横浜教育ビジョン2030
【横浜の教育が目指す人づくり】 自ら学び 社会とつながり とともに未来を創る人 【横浜の教育が育む力】 知 <生きてはたらく知> 徳 <豊かな心> 体 <健やかな体> 公 <公共心と社会参画> 開 <未来を開く志>

人権教育
・国際理解教育 ・環境教育 ・情報教育 ・特別支援教育

学校教育目標
「平戸に学び 自ら学び 生きる喜びを実感できる学校」 【知】 自ら学ぶ意欲を持ち、確かな学力を身につけ、自らの可能性を拓く「力」を育てます。 【徳】 豊かな体験を通して感動する心を大切にするとともに、互いの違いを認め合い、おもいやりのある「心」を育てます。 【体】 健康で安全な生活を心がけ、運動に親しみ、たくましい心と体づくりに努め、自他の生命を大切に「心」を育てます。 【公】 地域に学び、地域に生きる一員として、社会に貢献しようとする「心」を育てます。 【開】 日本の伝統文化の理解を深め、異文化を尊重する態度や心を身に付け、国際社会で活躍するための「コミュニケーション力」を育てます。

道徳教育指導目標
人間として望ましい生き方について理解を深め、よりよく生きようとする生徒を育てる。
A 主として自分自身に関すること ・自主的に考え、判断し、誠実に実行する態度を育てる。 より高い目標の実現をめざし、強い意志をもち、自らの可能性を拓こうとする心を育てる。
B 主として他の人との関わりに関すること ・互いの違いを認め、それぞれの個性や立場を尊重し、思いやりの気持ちをもって接しようとする態度を育てる。
C 主として集団や社会との関わりに関すること ・社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、協力し合いながらより良い集団や社会を築こうとする態度を育てる。 ・世界の中の日本人として自覚をもつとともに、国際的視野に立って自らの役割と責任を果たそうとする態度を養う。
D 主として自然や崇高なものとのかわりに関すること ・生命の尊さを知り、自他の生命を尊重する心を育てる。

小中連携
・平戸小学校 ・平戸台小学校 ・東品濃小学校 ・品濃小学校

生徒の実態と課題
・比較的落ち着いた学校生活を送り、学校行事や部活動にも積極的に関わろうとする生徒が多い。 ・明るく素直な生徒が多く、基本的な生活習慣が身についている。 ・人間関係の構築、コミュニケーション力の育成が必要である。 ・全体的に依存心が強く、粘り強さや忍耐力、集中力を高める必要がある。 ・友人関係で悩みを抱える生徒も多く、自分勝手に行動する側面がみられる。

教師・家庭・保護者の願い
・互いの違いを認め、おもいやりの気持ちをもって地域社会の一員として活躍してほしい。 ・様々な人々と豊かに関わりを通して、社会貢献する人になってほしい。 ・自主・自律の精神を大切にすることによってほしい。

学 年 重 点 目 標			
	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
A	中学生としての望ましい生活習慣を身につけるとともに、自主的に考え、判断し、誠実に実行する態度を育てる。 A-(1)、(2)	中堅学年として、自主・自律の精神を高めるとともに、個性を伸ばし、充実した生き方を追求する心を育てる。 A-(1)、(3)	最高学年としての自覚をもち、より高い目標の実現に向け、粘り強く取り組む態度を育てる。 A-(1)、(4)
B	お互いの良さを認め合い、友達に対する思いやりの心を育てる。また礼儀の意義を理解し、時と場合に応じた言動をとる態度を養う。 B-(6)、(7)、(9)	友情の尊さを理解し、思いやりや感謝のこころをもちながら相手の立場や個性を深く理解することで、より良い人間関係を深めようとする態度を育てる。 B-(6)、(8)、(9)	自分の考えや意見を相手に伝えるときに、互いの個性を認め合い、協力と感謝の心を育てる。 B-(6)、(8)、(9)
C	集団の一員としての自覚をもち、協力して集団生活の向上に努める態度を育てる。 C-(12)、(15)	勤労の尊さについて理解し、社会への奉仕と公共の福祉など、より良い社会の実現に努める態度を育てる。地域社会の一員としての自覚をもち、郷土を愛する心を育てる。	社会への奉仕の気持ちを深め、国際的視野に立って自らの役割と責任を果たそうとする態度を育てる。 C-(12)、(15)、(18)
D	生命の尊さを理解し、かけがえのない生命を大切にすることを育てる。 D-(19)	自然を愛し、美しいものに感動する心を育てる。 D-(20)	すべての生命を尊重し、人間として生きる喜びを見出すようにする。 D-(19)、(22)

各 教 科	
国語	互いの立場や考えを尊重しながら言葉で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
社会	社会的事象についての興味・関心を高め、自分なりの価値基準を確立し、公正に判断していくとする姿勢を育む。
数学	主体的に学ぶ姿勢を身に付け、筋道を立てて処理し、論理的に考えることを通して、問題解決力や判断力を高める。
理科	生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度、科学的な見方や考え方を養い、道徳的判断力や真理を大切にすることを育てる。
音楽	幅広い音楽体験を通して音楽を愛好する心情を育て、音楽に対する感性を豊かにし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
美術	多様な表現や鑑賞の経験から、美しさやよさを感じ取る情操と、さまざまな国の文化を理解し愛好する心情を育てる。
保健体育	ルールやマナーを守る態度や、規範意識を深め、集団の一員として自他を尊重する心を育むとともに、健康でたくましい心身を育成する。
技術家庭	生活に必要な知識や技術の習得を通して、望ましい生活習慣や勤労の尊さを学び、進んで生活を工夫し創造しようとする態度を育てる。
英語	日本人として自覚を持ち、国際的な視野にたつて、世界平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てる。

道徳科の指導方針
・道徳教育の要として、全教育活動における道徳教育と密接な関係を図りながら、道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める学習を通して、 道徳的な判断力・心情、実践意欲と態度 を育てる。 ・生徒一人ひとりが道徳的価値を理解し、それを自分との関わりでとらえて自己を見つめ、主体的に自分の生き方を切り拓く心を育てる。 ・自分とは異なる考え方や新しい見方に触れる中で、自分の考えを深め、自らの成長が実感できるよう、自分の考えを書いたり、議論したりするなど、表現活動の充実を図る。

特 別 活 動	
学級活動	自己の役割を自覚し、協力する態度や自主性を育てるとともに、社会の中でよりよく生きる力を育む。
生徒会活動	自主的な望ましい集団活動を通して、自己の役割と責任を自覚し、他の人々に対する思いやりや心敬愛の念を育てる。
学校行事	集団生活のルールやマナーを身に付け、様々な活動や人間関係づくりの中で道徳的実践力を養う。

道徳教育を通して育てたい子ども像
・自分の良さを発揮し、進んで学ぶ子 ・地域社会に貢献する子 ・感謝と思いやりの心をもつ子 ・自分と異なる様々な考え方に耳を傾ける子

横 浜 の 時 間
・様々な学習活動を通して、よりよく問題を解決する態度を養う。また自己の生き方について考え、自らの生き方について自覚を深める。

生徒指導	特色ある教育活動	教育環境の充実・整備	家庭・地域との連携
・自己理解を深め、自己実現を図るための態度や能力を身につける手立ての工夫を行う。 ・いじめや差別・偏見のない人権尊重の精神の育成に努める。 ・小中ブロックや学校、家庭、地域が一体となった指導体制構築する。	地域に根ざした道徳的実践活動を充実させる。 ・幼稚園・保育園との交流 ・地域人材を活用した防災教育 ・職場体験・職業講話	・教師と生徒、生徒同士が互いに思いやり、信頼で結ばれる関係をつくる。 ・お互いに気持ちよく、あいさつできるような環境をつくる。 ・よりよい人間関係をつくるために、言葉環境を整える。 ・清潔で落ち着いた学校環境の整備に努める。	学校・家庭・地域の相互理解を深め、協力体制をつくる。 ・授業参観、保護者会 ・学校を開く週間 ・学校だより ・地域行事への積極的参加(祭礼、防災拠点訓練等) ・地域人材を活用した出前授業 ・小学校との連携